北浦村報

第16号

発行所
北浦村大字山田
北浦村役場

発行人
真家襄之

印刷所
石崎印刷株式会社
電話（鉾田）一四八番

本村の人口

（12月末現在）

男	6、214人
女	6、739人
計	12、953人
世帯	2、155戸

北浦村議会 定例会

～十二月二十六日～

当日会議に付された事件はつぎのとおりでいづれも原案のとおり可決されました。

議案第五五号　北浦村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第五六号　北浦村職員定数条例の一部を改正する条例について

議案第五七号　北浦村議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

北浦中学校新築 第一期工事進捗する

昭和三十二年九月より引続き御高配をいたゞきました北浦中学校建築工事の本年度第一期工事は去る十月十三日指名競争入札により水戸市五軒町株式会社葵建設工業（代表者取締役社長栗原義英氏）請負となり工事請負金一千六百八十万円にて十月十七日契約十月二十日着工の運びとなりましたがご承知の通り九月中の第二十一号及第二十二号台風と十月十一月の毎日の雨のため破損した道路は至るところますます悪くなり工事用資材の運搬が困難であつたため工事は遅れていますが十二月はお天気もよくなり葵建設工業は工事は学校のことであり工事竣工期日三月三十日迄に工事地形工事も終了し深井戸工事も大体完了し鉄筋組立も一階は大体完了基礎コンクリート工事が全部打ち終り正月三日間は工事を休み四日より引続きコンクリート工事が進められる予定である。

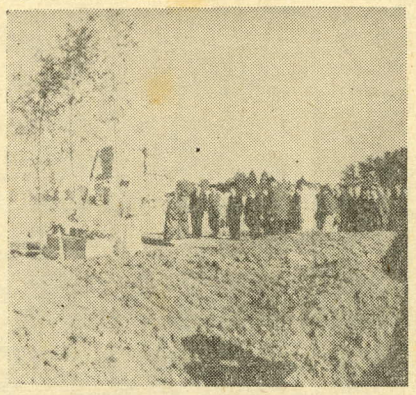
一、建築物の面積九〇六、二七〇七

一、規模内容

訳内事工築新築校学中浦北

室名称	室数	面積 平米	面積 坪	備考
一階昇降口	三、00	九一、八〇	二七、七六九五	
〃〃便所	三、00	五八、三一	一七、六四一八	
小〃普通教室	五、00	三三六、八〇	九八、八五七〇	一教室六五、三六平米
計		四七六、九三	一四四、三六八三	
二階階段室	三、00	八二、0八	二四、八二九二	
〃普通教室	五、00	三三六、八〇	九八、八五七〇	
小計		四〇八、八八	一二三、六一六二	
塔屋	一、00	六、三一六二	一、九〇六、六八二四	
合計		四一七、六〇	一二七、六〇七	
一階テラス	一、00	三三、五四九八	一〇、七六〇	
二階バルコニー	一、00	三三、五四九八	一〇、七六〇	

外足洗水呑場三ヶ所　電気設備工事一式
給水（深井戸）衛生浄化槽設備工事一式



（北浦中学校起工式）

北浦中学校起工式

十二月六日行う

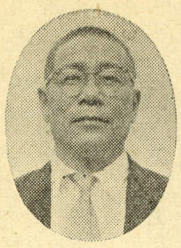
北浦中学校新築校舎の起工式は十二月六日校舎建設敷地において関係者多数参列のもとに執行されたが竣工は三月末の予定、モダン校舎の竣工がまたれている。

◉今月の税金

今月（一月）は住民税第四期の納期です
納期限内に完納いたしましょう
公民館出張徴収は三十一日と三十一日の二日間です

新年のごあいさつ

村長　真家襄之



村民の皆さん

新年おめでとうございます北浦村も発足してから才四年の春を迎えることとなりましたが町村合併の意義を深く認識された結果として着々その地歩をかためつつあることは村民各位のご理解とご協力のたまものでございます。

本年は新村建設による統合中学校の建設も才二年目でございます，この事業費総額は六千余万円で才一期工事費は一千七百万円余という大事業でありますがその後工事も順調に予定の計画によつて進渉しつつありやがて近代的校舎の実現も間近いことと存じます。

さらに本年は通学道路の新設改良、消防陣の統合強化その他諸事業がたくさんございますが村当局、議会各団体、村民各位一体となつて執行できますことを信じております。

私は村の発展は住民の和であると常に考えております。

みなさん大北浦村建設のためどうぞ本年もご指導とご協力をお願いいたします

年頭に當りて

議長　出久根　保

昭和三十四年の年頭に当り一言申しあげまして新年のご挨拶といたします。

新村建設に基く北浦村の村造りも村民各位の熱意あるご協力とご支援により着々その実を結びつつあることは誠に喜ばしい限りでありまして衷心より厚く感謝申しあげます

北浦村発足以来四ケ年の村政をかえりみるに新庁舎の建設を始めとして幾多事業の遂行には種々困難な問題がありましたが常に執行部村長を中心とし議会又一体となり議会議員の責任において正しい村政の執行に努力いたしてまいりました、お蔭様をもつて大体の村造りの基盤を形造ることができました、これ一重に村民各位のたゆまざるご協力の賜でありまして感謝に堪えません、最も大きな事業として取りあげました中学校の統合も当初はいろいろと困難をきたし村民に種々ご迷惑やご心配をおかけいたしましたがさいわい愛村的見地にたたれすべてがスムースに解決され議会の議決もとりまして茲に目出度く才一期工事の着工を見るに至りましたことはご同慶のいたりです。

今後なお一層村民各位のご期待にそうべく議会のあり方についても充分認識を深め明朗なる運営を計りたいと思います、なにとぞ村民の皆さんにおいても我々議会議員の意のあるところを諒とせられ村民の声をおきかせいただくとともによりよき村造りにご協力下さい。

おわりに村民各位のご健康とご幸福であることをお祈り申しあげまして新年のご挨拶といたします。

成人式を迎えて

新有権者の心がまえ

県選挙管理委員会委員長　橋本正男

人として個人の権利は生れたときからありますが、公人としての権利が認められるのは成年に達してからであると存じます。

わが国では、満二十才になると成人となり社会人としての権利を得るとともに、社会人としての義務も負うことになります。この中で選挙権の取得ということに最も大きな意義があると思います。

民主主義の政治においては政治の主人公は国民でありますが、直接すべての国民が全部集つて政治のやり方をきめるということはとうていできません。

そこで今日多くの国々では国民が投票によつて代表者を選挙し、この選ばれた代表者に政治をまかせるというやり方を採用しております。

わが国においても国会議員知事、市町村長、県および市町村の議会議員などは私たち国民が選挙することになつております。したがつて、私たちが政治のあり方を考えるときに、選挙というものがいかにたいせつなものであるかということがわかりましよう。

わが国では、満二十才になりますと、男女の別なく、また財産の別もなく、ひとしく誰にもこの選挙権が与えられるのです。しかし選挙権は、権利であると同時に義務であります。すなわち自分たちの社会をよりいつそう幸福にするために、最高の良心と責任とをもつて、この選挙権を行使する義務があるわけです。

もし、かりに、選挙権の行使は、その権利を持つている人の自由だといつて、有権者の全部が棄権してしまつたらどんなことになるでしよう。国会も成立しないし、市町村長もつくれないから、国の政治も村の自治も成り立たなくなつてしまうようなこととなるのです。またどうせ誰に投票しても同じだといつて、よく候補者を確めずに投票したらどうでしよう。必然の結果として誤つた政治が生れることにもなりましよう。

だから良い政治を望むならば正しい選挙を行わなければなりません。そのためには選挙のときにだけでなく、平常から政治について関心を持ち見識と判断力を高めるように努力しなければなりません。

新有権者の皆さんの清らかな目には、従来行われておりますます選挙の一部の実情がまことにみにくく映つていることと思います。しかしそんなことで選挙に絶望したならば、わが国の民主政治は危機に陥ることになりましよう。

こと数年来、選挙界にはびこるいろいろな悪弊を打破しようとして、全国的に公明選挙運動が展開されておりますがこれは結局は有権者一人一人の自覚によつてのみはじめて成果をあげ得るのです。

新有権者となられた皆さんにおかれては、清純なお気持をいつまでも失わず、選挙にあたつては、若人の特質である情熱をもつて、誘惑の手やつまらぬ義理に迷わされることなく、卒先して選挙の公明化をめざして立ち上られますよう希望してやみません。

農業委員会委員選挙人名簿縦覧のお知らせ

十二月一日現在で調製した農業委員会委員選挙人名簿を一月二十日から二月三日までの十五日間毎日午前八時三十分から午後五時まで役場において選挙人の縦覧に供します

この名簿は三月に行われる農業委員の選挙に使用する大切な名簿ですので自分の名前が載つているかどうかよくお確め下さい。

選挙権があつても名簿に載つていないと投票することができませんからご注意下さい

選挙の年

皆さん本年は選挙の年といわれております。北浦村における選挙の予定をお知らせいたしましょう

農業委員会委員の選挙　三月中
知事及県議の選挙　四月二十三日
北浦村長の選挙　四月三十日
参議院議員の選挙　六月中

（北浦村選挙管理委員会）

貧しい人々にあたたかい
心を旧歳末助けあい運動

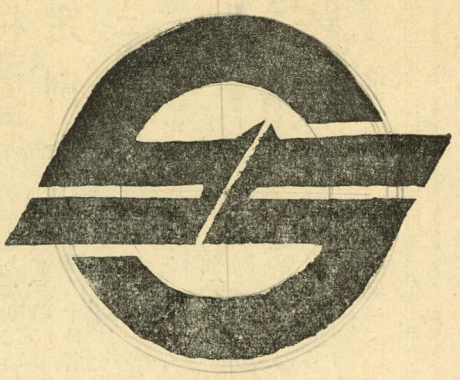
木枯しが吹きすさぶ師走がやつて来ました村内の気の毒な生活にお困りの人々に少しでも明るい正月が迎えられるよう村民の皆様のあたたかいお気持ちに訴え同情袋による助けあい運動を一月十日より末日まで実施いたしますから特段のご協力をお願いいたします。

（厚生課）

納税貯蓄組合をつくりましょう

一時にたくさんの税金を納めることは苦しいことです。ふだんから心がけて、税金の分を少しずつ貯金しておくと割合楽に納めることができます。いろいろと有利な特典のある納税貯蓄組合をつくりましょう。

北浦村章



北浦村ではかねて村当局ならびに村議会で村章を検討中であつたが上記のとおり北浦村章として決定いたしました。

本年からお買物はメートル法
やさしいメートル換算法

本年一月一日から、一部の例外（例えば土地建物の坪数など）を除いてすべてがメートル法で計算されるこれまでは肉を百匁、ジャガイモ一貫匁などというように取引されていたのが、肉を三百グラム（八十匁）お芋を三キログラム（八百匁）下さいと言わねばならぬ。しかし重さや長さの見当がつくようになれば、すべてが十進法だから胸算用はかえつて楽になる。早く慣れるためには秤を備えつけるのも一法。買物の都度品物を秤にかけていれば自然に頭へきざみこまれる。また目方を確認することによつて同時に店の信用もおしはかれようというもの。別掲やさしい換算法ご参考までメートル法は諸外国に早くから採用され、その数はヨーロッパはもちろん七十八カ国にも及んでいるという。

○尺をメートルに……三倍して一〇で割る
○鯨尺をメートルに……五割加えて四で割る
○間（けん）をメートルに…一割引いて二倍する
○町をメートルに……一割加えて一〇〇倍する
○里をキロメートルに……三割加えて三倍する
○哩をキロメートルに……二割引いて二倍する
○坪を平方米に……一割加えて二倍する
○升をリットルに……九倍して五で割る
○貫をキログラムに……一五倍して四で割る
○斤をキログラムに……三倍して五で割る
○ポンドをキログラムに…一割引いて二で割る

× ×

御題「窓」

境　勇

あさなきのかかみのことき
北浦に
すなとるふねの
みゆるまと〳〵

中学生及青年団の対抗駅伝

北浦中学校各分教室対抗駅伝は十二月十九日役場前発北浦村一周の全コース二十一粁余を寒風をついて行われ優勝は津澄分教室A組で順位及び記録はつぎのとおりであつた

一位　津澄分教室A　タイム一時間二〇分五五秒
二位　武田分教室A　タイム一時間二一分一五秒
三位　要分教室A　タイム一時間二一分二六秒
四位　津澄分教室B　タイム一時間二四分五秒
五位　武田分教室B　タイム一時間二六分二八秒
六位　要分教室B　タイム一時間二八分四八秒

なお同日行われた青年団対抗駅伝は同コースで行われ成績はつぎのとおりであつた。

一位　要青年団Bチーム　タイム一時間二〇分二五秒
二位　津澄青年団
三位　麻生高校北浦分校
四位　武田青年団Aチーム
五位　要青年団Aチーム
六位　北浦村役場
七位　武田青年団Bチーム

（写真は対抗駅伝競走）

卓球個人戦成績

十二月十九日北浦村役場で行われた中学校卓球戦はつぎのとおり

男子一位　富田訓雄君（津）
〃二位　山口　勉君（津）
〃三位　鬼沢正二君（津）
女子一位　大場婦美さん（要）
〃二位　池田愛子さん（津）
〃三位　内田文子さん（武）

戸籍のうごき

出生の部　10、11月分

字名	保護者名	子の名
小貫	有馬	文子
小幡	根本	一男
小貫	久保	常明
小幡	岡崎	ひろ子
中根	齋藤	幸江
小幡	金井	光一
山田	横瀬	エミ子
繁昌	石間	美智子
行戸	塙	俊夫
三和	鳥次	美江
小幡	宮内	利之
繁昌	高橋	俊
内宿	高橋	孝三
成田	河野	かよ子
小幡	掛田	規子
三和	森崎	隆
長野江	柳	千賀子
山田	高柳	泉
内宿	武田	淳
北高岡	齋藤	正彦
両宿	齋藤	一敏
三和	高野	孝之
内宿	出久根	一
山田	林	信男
両宿	根崎	宏
北高岡	宮内	茂雄
中根	金田	孝子
繁昌	高橋	光世
南高岡	柴田	福松

婚姻の部　10、11月分

字名	夫妻の氏名
山田	横瀬寛（若林美どり）
小幡	山崎和紀
吉川	沼里始
北高岡	成田隆夫
小幡	野村恵美子
内宿	菅沢八重子
小貫	原幸一
繁昌	鈴木弘子
小幡	根本悦夫
行戸	亀田泰順
山田	千ヶ崎久美子
三和	小島ゆき子
北高岡	石橋和子
山田	石川宏
小幡	野村浩一
小貫	野村一也
小幡	山田政江
繁昌	横田正
中根	沼木信義
繁昌	山崎トヨ子
内宿	宮河悦子
小貫	石橋やい武
南高岡	後谷輪健ミ蔵
吉川	星沼清次
小幡	齋藤千米蔵
繁昌	石橋つね弘
小貫	塚越好枝正
山田	綾部俊介豊
繁昌	鈴木茂
内宿	平野子
小貫	有馬
両宿	六笠玲子
行戸	河島秀健
小貫	松本千枝子
小幡	橋本ひで子
北高岡	小野瀬弘
小幡	小林フミ夫
小貫	仲居光郎
内宿	久保五子
中根	真家邦雄
内宿	小山本行雄
両宿	郡司忠夫
内宿	金塚一男
小貫	鬼沢善助
小幡	大内玲実
小貫	馬場とし江
小幡	堀節雄
小幡	石毛権子
小幡	原正子

えちぜん生活のちえ

黒板の利用法
使いようでは秘書代り

多くの家庭で、主婦は毎日忙しい生活を送つております。このため、ふだん考えていること、計画をたてたことでもとかく忘れ勝ちで、実行しそこなうことがよくあるものですこれを防ぐために黒板を備えてみては如何でしょうか。その特長を挙げてみますと

① 手帳やノートへのメモと異り目につきやすいため、常に記憶を新らたにできること
② 書きこみが簡単にできること
③ 共稼ぎ、あるいは外出するような場合に家族に対する伝言板にも利用できることなどですが、茨城県のある農家では次のように活用しております。黒板を土間に掲げておいて子供への小使いや商人への支払など誰がお金を払つてもこの黒板に記入しておきます。農繁期にはなかなか忙しくて、家計簿のつけ忘れが多く、しまいには記帳もとだえてしまうことが多くなりがちですが、それを未然に防いでおりますし、記帳の時間もあまり使わないで済むそうですこれは都会の家庭でもできる手だと思います。

黒板はどんな板でも結構ですがミカン箱やリンゴ箱のいらなくなつたものをキレイに削つて、墨汁をくりかえしてぬればでき上ります。

黒板は商売人や会社のオフィス等でよく使われますが、家庭にも採り入れて、あなたの秘書代りとしてはいかがでしょう。

自治功労者の表彰

十二月十九日、水戸市水産農林会館において茨城県町村会定時総会の席上自治功労者として本村厚生課長長瀬宝竜氏が永年勤続優良町村吏員のもとに表彰を受けた。

昭和三十三年度
貯蓄関係の表彰

十二月五日水戸市茨城会館において県民貯蓄一千億円達成記念、市町村貯蓄推進委員並びに「こども銀行」創始十周年大会が行われその席上北浦中学校津澄分教室こども協同組合が優良「こども銀行」として茨城県知事並びに茨城県貯蓄推進委員会長賞を受けた

なお同校こども協同組合は三十二年度においても努力賞を受けており三十四年度は大臣賞を受けるのだと張切つている。

同日貯蓄功労者として北浦中学校事務官鈴木静雄氏も知事賞を受け表彰された。

【役場職員の異動】

退職者（十二月三十一日附）
書記（国保係）　堀江小三郎
新採用（一月一日附）
書記補　高野幸男（長野江）
農委係
保健婦　土子文江（山田）
国保勤務